



九州「正論」懇話会

「中国の拡張主義踏まえ戦略を」

渡辺利夫氏が講演

九州「正論」懇話会の第98回講演会が18日、福岡市のホテル日航福岡で開かれ、拓殖大学学長の渡辺利夫氏が「膨張する中国とどう向き合おうか―近現代史の視点から」と題して講演した。写真（林俊志撮影）。

渡辺氏は中国を「遅れてきた帝国主義国家」と位置づけ「対外的に拡張主義になるのは当然で日本はそれを踏まえて戦略を立てなければならぬ」と訴えた。さらに貧困層と異民族を抱える中国が「外に敵をつくり、強いナショナリズムを形成するのは当たり前だ」と主張。昨年9月の中国漁船衝突事件を挙げ「『理不尽』と批判するのではなく、そういう国だと認識し、対応しなくてはいけない」と強調した。中国が急激な経済成長を成し遂げる一方、少子高齢化が進んでいることに触れ「（労働人口の減少で）今の成長を続けるのは厳しくなる」と分析。「巨大な帝国を維持するのに耐えられなくなる時期がやがてくる」と述べた。